

## 全国聴覚障害者情報提供施設協議会 総会・大会 参加報告

6月22日～23日、談露館（山梨県甲府市）において全国聴覚障害者情報提供施設協議会（以下、全聴情協）理事会、そして総会及び第19回（通算第31回）全国聴覚障害者情報提供施設大会が開催され、当センターより施設長の藤平が参加しました。

コロナ禍の影響により、昨年はハイブリッド方式で実施しましたが、今年は対面のみで甲斐国（山梨県）で開催することができました。しかし、残念ながら53施設のうち48施設と全施設参加とはいきませんでした。

総会では2022年度事業報告・決算、2023年度事業計画・予算に関して審議。その時に、第2ブロック（福井・石川・富山・新潟・長野）においても、2023年度の活動計画書では『施設長研修会・会議（福井）』『コーディネーター研修会（石川）』『ソフト制作担当者研修会（長野）』において実施予定といった内容が了承されました。

また役員改選では、宮内博子氏、藤平淳一、川津雅弘氏、中西久美子氏、太田裕之氏、西川研氏（第1～6ブロック理事）、坂井隆行氏（映像制作担当理事）、竹内恵子氏（意思疎通支援担当理事）、楫希代見氏（相談支援担当理事）、井澤照夫氏（事務局長）が当選。

施設大会では、30分程度の式典の後に、シンポジウムがありました。テーマ

は「聴覚障害者情報提供施設における相談支援のあり方」であり、コーディネーターを太田裕之副理事長が務め、パネラーは厚生労働省自立支援振興室 富原博室長補佐、全日本ろうあ連盟 吉野幸代理事、東京手話通訳等派遣センター 森せい子センター長でした。厚労省の富原氏からは昨年度の全聴情協が実施したヒアリング・アンケート調査を踏まえた上で、ICT活用には地域差があるとし、テレビ電話を活用した相談の急増に対応が必要とのこと。令和2年の厚労省委託事業の「遠隔手話サービス等を利用した聴覚障害者の意思疎通支援体制の強化」によって、遠隔手話通訳が開始したが、これは平常時でも使用可能であることから、積極的に活用してほしいと。吉野氏からは、時代の流れとはいえ、無資格で相談支援を行っている人が多く、将来的には有資格の相談員が求められることになる。そのため、特化した資格、または認定を受けるための研修が必要だと指摘する。森氏からは、相談に必要な機能として「人と物・予算」があり、特に社会とのパイプを有し、協働できることが大切だとし、その手段としてきこえにくい人に必要なもの、たとえばループ等が使用できることが重要であると述べる。。

来年度の同施設大会は、宮城県仙台市で開催する予定です。

### ←パネルディスカッションの様子

（左から森せい子氏、吉野幸代氏、富原博氏、太田裕之副理事長）



## 令和5年度 盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会 開講

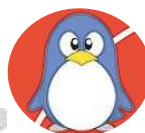
6月24日(土)に標記講習会の開講式を羽咋公民館にて行いました。例年、開催地域を持ち回りとしており、今年度は羽咋市での開催となります。10名の受講申し込みがあり、大変嬉しく思います。開講式では当法人の達磨理事長より、激励の挨拶がなされました。午前には「盲ろう者概論・盲ろう者のコミュニケーション」、午後は「聴覚障害の理解」「視覚障害の理解」をテーマ



石川盲ろう友の会 宮永会長の講義

に講義を実施しました。当事者からの声は、大変参考になったことと思います。次回より盲ろう者のコミュニケーション方法や移動介助の技術など、いよいよ実技が始まります。今年度も、講義に限りオブザーバーも参加できます。それぞれが研鑽を積み、より良い通訳・介助を目指して、ともに頑張りましょう。

## 第18回全国手話検定試験



受験申込  
締切迫る!

締切:8月10日(木)

試験実施日 5級・4級・・・10月14日(土)  
3級・2級・・・10月15日(日)  
準1級・1級・・・10月21日(土)

石川会場(県社会福祉会館)で  
試験を実施します  
(5・4・3級)

### ●申込・問い合わせ先

社会福祉法人 全国手話研修センター 全国手話検定試験事務局

〒616-8372 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3-4 TEL:075-871-9741 FAX:075-873-2647

## 石川県登録手話通訳者の紹介

質問してみました ①サークル②趣味  
③今後やってみたいこと④これからの抱負



竹村 千賀子

- ① 虹
- ② 音楽鑑賞
- ③ 登山
- ④ 信頼してもらえる通訳者を  
目指し、努力を続けていきます

転入による  
新規登録です

## 協会人事のお知らせ

このたび、下記のとおり、人事異動がありましたので、お知らせいたします。

7月31日付で、ろうあハウス所長の吉岡真人氏をやなぎだハウスにおいてサービス管理責任者として任命する。同時に、ろうあハウス所長を田畠芳子氏に任命する。

石川県警察本部  
交通部運転免許課



# きこえない・きこえにくい方へ

運転免許センターでは、手話・字幕付きDVDで  
高齢者講習・認知機能検査を受けることができます！  
(70歳以上の方) (75歳以上の方)



## 認知機能検査とは

75歳以上の高齢者のうち、運転免許証の更新を受けようとする方などに対し、記憶力や判断力を測定する検査です。

### 認知機能検査項目

#### 「手がかり再生」検査

記憶力を検査するもので、一定のイラストを記憶し、採点には関係しない課題を行った後、記憶しているイラストをヒントなしに回答し、さらにヒントを基に回答します。



#### 「時間の見当識」検査

時間の感覚を検査するもので、検査時における年月日、曜日及び時間を回答します。



運転免許センターでは、6月中旬から聴覚障害者の方向けに手話・字幕付きDVDを利用した認知機能検査、高齢者講習を行っています。  
対象の方は、運転免許センターで検査等を受けてみませんか。

好評です！

### 手話通訳者・要約筆記者・盲ろう通訳者 頸肩腕障害検診のご案内

標記検診を下記日程で実施します。体調の確認や管理につなげていただくため、ぜひ受診していただきますようお願いします。

8月19日(土) 11:00～

8月21日(月) 13:15～

※詳細はFAX、メール、または郵送した資料をご確認ください

担当：森川、岩垣







# 地域活動支援センターろうあハウス ろうあハウスだより

Vol. 29 2023(令和 5)年度 8 月 1 日

## 天徳院に盲・ろう学校関係の物故者の石碑を参拝



2023(令和 5)年 5 月 2 日(火)  
天徳院・金沢くらしの博物館  
人数：17 名

珠姫寺とも言われる金龍山天徳院のすぐ近くに昔石川県立盲学校・石川県立聾唖学校の石碑があり、ろうあハウス全員が参拝しました。石碑は昭和 6 年、天徳院のお墓の並

びに 盲学校・聾唖学校関係物故者の石碑を建てたそうです。毎年 7 月 15 日の新盆に参拝しているとうあハウスの利用者から聞きました。ろう学校の歴史を知る石碑でした。金沢くらしの博物館に行き、戦前のくらし 戦後のくらしの展示物に懐かしいものが並んでおり、小学生の時に遊んだコマ、おじゃみ、メンコ、けん玉で皆さん上手に遊んでいました。この日は爽やかな 1 日で懐かしい気持ちになりました。



## 真夏日の中のトマト収穫体験

木場潟の次世代エネルギーパーク東園地公園と道の駅小松木場潟に行きました。この日は真夏日でトマト収穫体験や太陽光発電・温水や地下水冷暖房装置、木質バイオマス暖房機などの体験と学習を兼ねて実際に見て学びました。太陽光発電のパネルの下にはブルーベリーが栽培されていて大きな粒のブルーベリーが成っていました。



トマト収穫体験も大きなトマトを 1 人 3 個まで収穫出来て皆さん楽しそうにトマトを切って取っていました。帰りには袋にトマトや道の駅で買った野菜など持って満足した様子でした。暑さに負けずに、楽しめて良かったです。



2023(令和 5)年 6 月 27 日(火)  
木場潟東園地公園 人数：18 名